



名瀬小だより

8月号

学校教育目標
自分・友だち・まちがすき
自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和2年7月31日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



自分の考えをもつ！

校長 中嶋 孝宏

梅雨で晴れの日が少ない日が続きますが、子どもたちは元気に学校生活を送っています。休み時間、雨で校庭に出られない日も工夫をしながら仲間と過ごし、授業にも真剣に取り組んでいます。どの学年も昨年度より成長した姿を感じます。特に5・6年生は高学年としての自覚を感じられる子どもたちが多く、たくましいです。

あたりまえのことをあたりまえにできる大切さを感じ、取り組む。例年通りにできないことに不満を言うのではなく、今できることに集中して取り組む。そのような姿勢が高学年を中心としてどの学年にも感じられます。結果、楽しい学校生活を過ごすことができる人が増えてきていると思います。これは素晴らしいことです。引き続き、毎日を大切に過ごして行ってほしいと思います

新型コロナウイルスの感染拡大防止の関係で今年度の子どもたちの夏休みは、8月3日から14日となります。「でも7月終わりまでみんなと過ごせて楽しい！」という話を聞くとうれしくなります。短い夏休みですが、挑戦したいことを見つけ、楽しんでほしいと思います。

日本の世界遺産をすべて覚える、ハンバーグを作れるようになる、テントを自分で設営できるようになる、卵からマヨネーズを作りその秘密を探る・・・など自分なりの挑戦を期待しています。また、生活のリズムはできるだけ崩さずに過ごすことも今年は特に大切です。学校で培ったことに加え、この夏休み、自分なりの挑戦をして、経験をして感じて、「自分の考えをもつ」ようにしてほしいです。ご家庭でのご支援よろしく申し上げます。様々な経験が自信につながるように、夏の過ごし方をご家庭で話し合っただけだと幸いです。子どもたちの夏のいろいろな話を聞くことを職員一同楽しみにしております。

運動会や宿泊行事など、今年度は例年通りの実施が難しい状況が続きますが、保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、学校は今できることに集中できております。本当にありがとうございます。引き続きよろしく申し上げます。

